

省CO2、環境への取り組みの先導を目指して！

新潟日報メディアシップeco倶楽部

1.リデュース

【館内の設備機器の長期使用】

新潟日報メディアシップ内で使用している電気・空調・衛生設備機器は、長期使用を見据え修繕計画を組み、修理による長期使用に取り組んでいる。

また、積極的に省エネ機器の使用に取り組んでいる。

3.リサイクル

【ゴミの分別によるリサイクルへの取り組み】

新潟日報メディアシップでは、ゴミの分別を館内規則にて定め、館内から排出されるゴミの分別に取り組んでいる。具体的には、館内から排出される段ボール、シュレッダー古紙、上質紙、新聞紙、パンフレット等の雑誌については、リサイクルボックスに入れていただきリサイクル回収しています。

また、年2回のテナントへの報告会で廃棄物排出量実績の報告をしており、どれくらい資源化できたか報告することで、テナントへの理解の増進もしております。

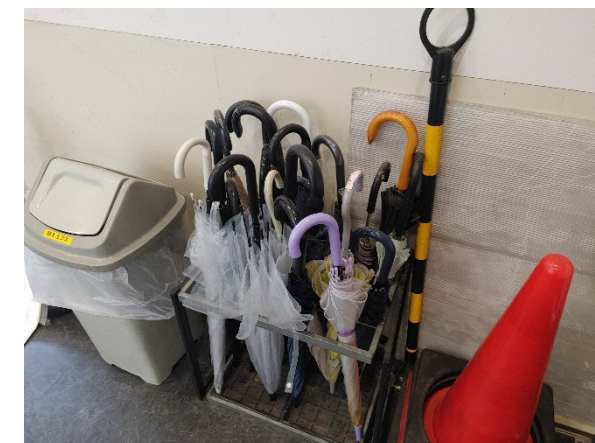
2.リユース

【忘れ物の傘の再利用】

新潟日報メディアシップ内の忘れ物の傘は、一定期間忘れ物として保管し、期間を過ぎた傘はビル関係者用の置き傘として再利用。

2025年度実績					
区分	処分量 t/年	資源化量 t/年	収集運搬業者等	搬入施設・処分業者等	
事業系ごみ（一般廃棄物）					
可燃ごみ	61.3			新田清掃センター 亀田清掃センター	
不燃ごみ	1.4			新田清掃センター	
再利用対象物（資源物）					
古紙類		86.0			
ガラスびん		2.2			
飲食用缶		1.0			
木くず類		0			
食品系廃棄物		0			
合計	A 62.7	B 89.2	排出量 A+B 151.9	資源化率 B/(A+B) 58.7%	

廃棄物排出量実績報告



忘れものの傘の利用



省CO2、環境への取り組みの先導を目指して！

新潟日報メディアシップeco倶楽部

4 .SDG s の取り組み

新潟日報メディアシップeco倶楽部では、ゴール3、ゴール5、ゴール7、ゴール17を目指しています。2020年にSDG s 宣言をし、その宣言を基に取り組んでいます。



すべての人に健康と福祉を

新潟日報メディアシップeco倶楽部では、ペットボトルキャップ回収活動を行って、「世界の子どもにワクチンを日本委員会」を通じ世界の子どもにポリオワクチンを届ける寄付活動に参加しています。累計実績として約383人分のポリオワクチンの提供に協力しました。



ジェンダー平等を実現しよう

新潟日報メディアシップeco倶楽部の活動は、性別・役職にとらわれず誰でも参加出来る取り組みを行っています。萬代橋チューリップフェスティバルの球根植え付け会として、テナントに呼びかけ、性別・役職を問わず多くの方に参加いただき、活動を実施しました。



エネルギーをみんなにそしてクリーンに

新潟日報メディアシップは、建物全体で省CO2化に取り組んでいます。太陽光発電によるクリーンエネルギーの使用、コージェネレーションシステムによるエネルギー効率の高い電気・熱の利用や、屋上・壁面緑化などとともに、建物内の照明のLED化や人感センサーによる照明制御を行い一般家庭約240世帯分のCO2削減を行っています。



パートナーシップで目標を達成しよう

新潟日報メディアシップeco倶楽部では、多種多様な企業・団体と共に新潟市が開催する萬代橋チューリップフェスティバルへの参加や、ペットボトルキャップ回収活動、省CO2活動などを協力して行っています。